



www.yasuseiki.co.jp



YASUI SEIKI

Reach your target...
With our technology for the future

Corporate profile

会社案内



Top message

コンサルティングから開発・製造・メンテナンスまで、 ブレーンとして提供しつづける最先端テクノロジー。

1979年創立以来30年が経過しました。

(株)康井精機は、精密コーティングマシンのメーカーとしてハイテク製品など高付加価値コーティング製品の製造には欠かせないマイクログラビア塗工やダイ塗工などによるサブミクロンの超薄膜塗工技術を確立させ、高分子業界や電子、オプトニクス業界に貢献しています。また従来のコーティングマシンを異なった視点から検証しコーティングヘッド、乾燥装置、キュア装置を含め他社とはひと味違うオンリーワンのコーティングマシンを製作しています。特に(株)康井精機の特許である「マイクログラビア」塗工装置は国内、海外に数百台を納入しサブミクロンコーティングにとどめてはならない存在となりました。他にもセラミック薄膜用ダイ塗工システムは独自の技術で開発し、積層コンデンサーを作るには(株)康井精機製ダイ塗工装置を欠かせる事は出来ません。

最近では新興国の台頭で多くの国内のコーティングメーカーは苦戦を強いられておりますが(株)康井精機はオンリーワンの技術を通し国内の研究所へ数多くのコーティングマシンを納めています。また、研究開発と試作サンプル生産が出来る研究所の(株)ラボを1986年に設立し開発を主体とした綾瀬研究所(神奈川県綾瀬市)と受託加工主体の大村研究所(長崎県大村市)にてお客様のニーズに合わせて活動しています。(株)ラボでの数多くのコーティング実験で培ったコーティングノウハウはコーティング業界ではNo1であると自負しています。これらの技術は次世代のコーティングマシンの開発へ反映させております。また、型コーティングヘッドの開発やテスト機を購入する目的で実験をされるお客様の為に長崎県大村市ハイテクパーク内に当社専用の研究所を2007年に開設し、300巾のテストコーティングマシンと700巾、1600巾アニール専用機械を導入し、ITO膜やCCL製品、低熱収縮フィルム製造等の受託加工も行えるようになりました。コーティングマシンをご検討されているお客様は是非ご一報をお願い致します。

(株)康井精機は(株)ラボ、MIRWEC Film,Incにも康井グループとしてコーティングノウハウをバックアップ致します。

代表取締役社長 康井 義成



代表取締役 社長
康井 義成



弊社は高性能マシニングセンターを駆使し、
コーティングマシンで使用される部品の全ては社内加工にて行っております。



●大村開発研究所 Page 5

●マイクログラビアコータ Page 6

(薄膜塗工向け)



●スロットダイコータ Page 7



●小型生産コータ Page 7



●小型テストコータ Page 8



●大型生産コータ Page 9



●メンテナンス Page 13

営業品目

各種コーティングマシン・その他

- ◎研究開発専用
 - μコータ
 - βコータ
- ◎研究開発／多用途向け
 - 小型テストコータ
 - テストコータ
 - プライムコータ
- ◎特定商品開発／生産向け
- ◎セラミックシート向け
 - スロットダイコータ
- ◎リチウム二次電池向け
 - スロットダイコータ
- ◎生産向け
 - プレジジョンコータ
- ◎各種コーティングヘッド
- ◎薄膜向け
 - マイクログラビア
 - スロットダイ
- ◎厚膜向け
 - スロットダイ
 - ナイフ
- ◎その他装置
 - カレンダー装置
 - スリッター装置
 - 各種乾燥炉
 - UVキュア装置
 - EBキュア装置
 - コロナ処理装置

主な製品用途

- セラミック・グリーンシート (MLCC, LTCC)
- リチウム電池, イオン透過膜
- 太陽電池, バックシート
- 各種液晶表示板材料・光学材料 (光拡散膜, 反射防止膜, 偏光膜ラミネート等)
- 非接触ICカード
- 各種転写フィルム
- フレキシブル基板 (FPC)
- その他, 高付加価値商品



【コーティング／その他装置 設備概要】

- (株) 康井精機 大村開発研究所
- 薄膜/厚膜塗工, アニール処理向け
 - IN-300 テストコータ
 - IN-700 アニール処理設備
 - テストスリッター装置
 - 各種 評価/試験装置

- (株) ラボ 綾瀬/大村研究所
- 試作/有償サンプル・受託生産
 - マルチテストコータ 2台
 - マーケティングテストコータ 2台
 - ダブルテストコータ 1台
 - 生産/テストコータ 1台
 - 単板ナイフコータ 1台

- カレンダー装置
- 各種 評価/試験装置
- エージング室
- 分散/塗料化設備

- Mirwec Film, inc. (アメリカ)
- 試作/有償サンプル, 受託生産
 - マルチテストコータ 3台
 - テストコータ 4台
 - スリッター装置 4台
 - PP製造マシン 2台

会社概要

商 号 株式会社康井精機
YASUI SEIKI COMPANY Ltd
代表者 康井 義成
所在地 神奈川県老名市門沢橋6-18-30
電話 (046) 238-0160
FAX (046) 239-0548
資本金 20,200,000円
創 業 昭和54年9月20日
設 立 昭和55年11月18日

社 歴

昭和55年11月 株式会社康井精機設立
昭和59年09月 株式会社ラボ設立
平成03年02月 YASUI SEIKI CO., USA
平成06年04月 第2組立工場完成
平成15年09月 米国MIRWEC社を三菱レーヨンより買収
平成19年06月 第3組立工場完成(長崎県大村市)
平成22年04月 第4組立工場完成(神奈川県老名市)

MIRWEC Film, Inc. &
YASUISEIKI CO., (USA)

Page 11-12

アメリカでの加工生産



MIRWEC社業務内容

- ・(株) 康井精機製 コーティングマシンの販売
- ・高電圧用PPフィルム製造
- ・コーティングサービス
- ・テストコーティング
- ・コーティング受託加工
- ・スリッター加工



Yasui Group Network

海外での生産、および販売拠点

● (株) 康井精機

テストおよび製造機械



本社第一工場



第二工場



第四工場

コーティングという技術を通じ、社会のお役に立ちたい

1987年に特許申請以来、海外も含めて数百台以上もお使い頂いております。(株) 康井精機のマイクログラビア塗工方式は、薄膜塗工、精密塗工への時代の要請と共に、益々その活躍の分野を広げて、今後は更なる技術開発・革新の努力を続けています。



大村開発研究所

● (株) ラボ 試作・研究開発



大村研究所

試作・開発・研究から小ロット生産までサポート

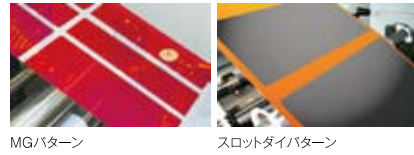
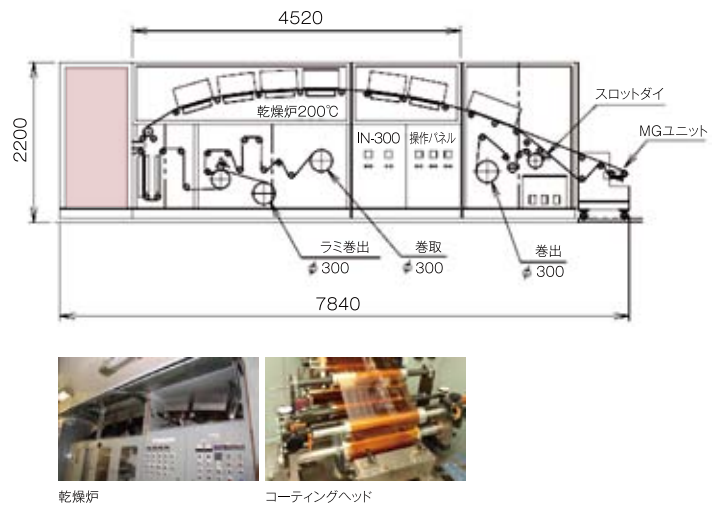
ミリの1000分の1の世界「μ」が私たちが得意とするフィールドです。この想像を超える薄さの領域で、より高精度のコーティング実験を行い、新商品の開発テストやサンプルの作成など、世界中の企業・研究者の プレーンとして、その活動をサポートしています。



綾瀬研究所



高温400℃・低酸素雰囲気 (N₂パージ) アニール処理の試作開発および受託生産



キュア炉付コーティングマシン
(コーティング〜キュア ロールtoロール連続方式)



(株) 康井精機 大村開発研究所にN₂パージ400℃キュア炉付き(株)康井精機製テスト機および受託生産機を設備。

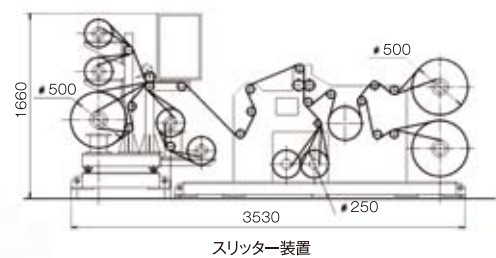
(株) 康井精機 大村開発研究所には弊社が作成したN₂パージ、400℃雰囲気のカュア炉とコーティング、200℃乾燥とが連続にできるポリイミド樹脂など耐熱性を要する樹脂を対象としたテスト機(処理巾300mm)および受託生産機(処理巾650mm)を設備しました。耐熱性樹脂(ポリイミド)のコーティング及びキュア炉にはノウハウが蓄積されています。コーティングテストは弊社の熱処理専門の開発担当が行います。また、2011年4月には処理巾1600mmの熱風専用キュア炉(230℃)を設備致しました。

【設備能力】

- 開発用試作機 (IN-300) ロールtoロール 処理巾300mm C/R:クラス1000
炉長:熱風炉4.5m IRアニール炉5m 乾燥方式(熱風+IR400℃)
- 生産機 (IN-700) ロールtoロール 処理巾650mm C/R:クラス1000
炉長:熱風炉24m IRアニール炉16m 乾燥方式(熱風+IR400℃)
- 生産機 (IN-1600) ロールtoロール式 処理巾 1600mm C/R:クラス1000
炉長:熱風炉35m (MAX230℃)
- 評価用パッチ炉500℃ スリット加工機 700mm



650mm巾 生産機 (IN-700)



【用途】

- CCL/COF (ポリイミド製品) ・ 太陽電池
ディスプレイ用フィルム(耐熱ポリマー) ・ 透明電極材料
その他 耐熱フィルム・TG熱収縮フィルム

【評価装置】

- 熱分析測定器 (DMA・TG-DTA・TMA) ・ 2次元測定器
表面・体積抵抗測定器 ・ 破壊電圧測定器 ・ 剥離試験測定器
MIT屈曲試験測定器 ・ 半田耐熱測定器 等



TMA



DMA



2次元測定器

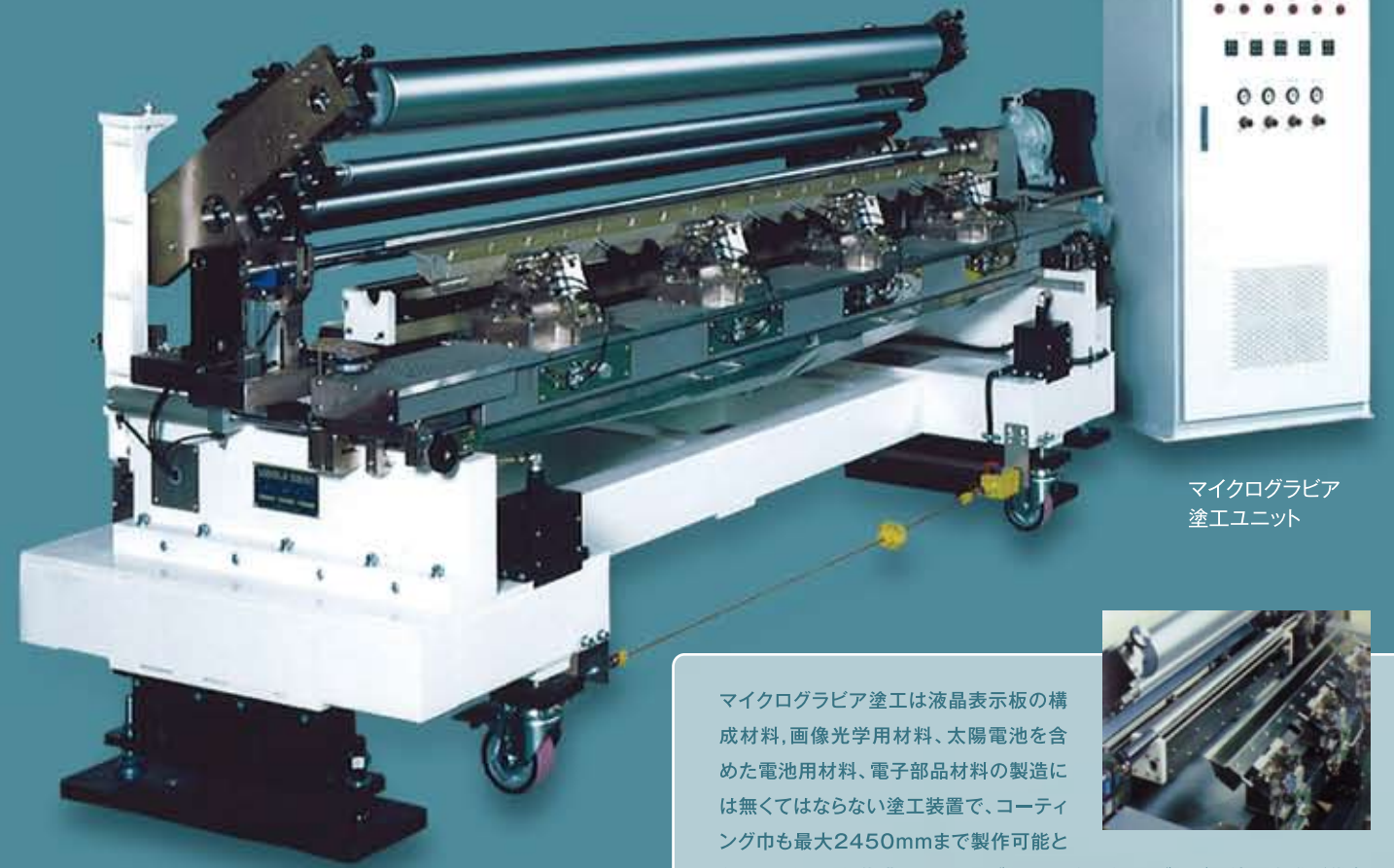


TR-DTA

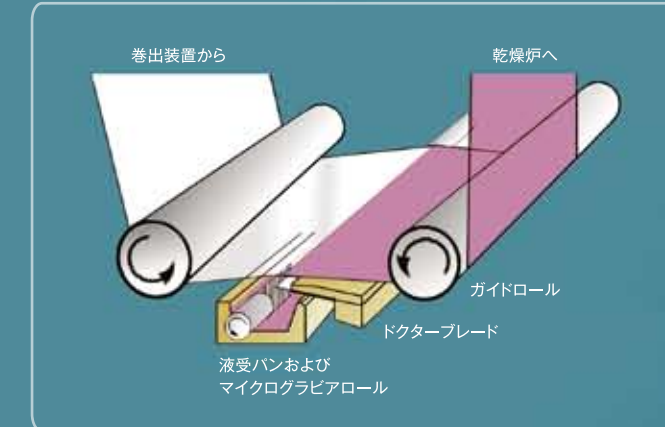
マイクログラビアコータ (薄膜塗工向け)

マイクログラビア塗工方式 (株) 康井精機特許

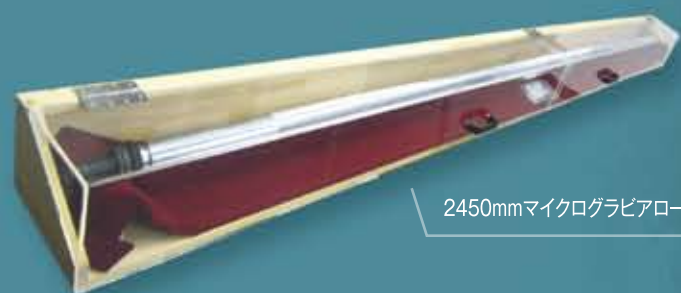
マイクログラビア (小径グラビア) と塗工装置のブレード装置は(株) 康井精機の特許です。
(特許第3977679号)



マイクログラビア塗工は液晶表示板の構成材料、画像光学用材料、太陽電池を含めた電池用材料、電子部品材料の製造にはなくてはならない塗工装置で、コーティング巾も最大2450mmまで製作可能となりました。また薄膜コーティングと言えばマイクログラビア塗工方式が代名詞になりました。



(株) 康井精機の特許「マイクログラビア」塗工方式はその名の通り極小径のグラビアロールを使用し塗工致します。しかし、いわゆるグラビア方式ではありません。マイクログラビアロールはリバース方式であり、基材の進行方向とは逆方向にグラビアロールが回転します。しかもバックロールがありません。ですからリバースグラビア・キス方式と言えます。リバース回転するグラビアロールは液供給パンから塗液を掻き上げ、ドクターブレードは余分な塗液を掻き落とします。グラビアロールと基材に挟まれた液は、互いに逆転するロール基材の間で回転しながら小さなビード(液溜まり)を形成しつつも引き伸ばされ、基材表面へ転移されます。ですから1μm (WET) という薄膜も平滑・均一・正確に塗工出来るのです。塗工巾は2450mmまで対応します。



一般グラビアロール

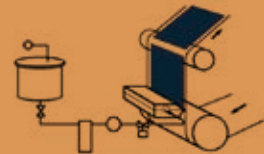
マイクログラビアロール



スロットダイコート

スロットダイコーティングの特徴

スロットダイコーティングでは塗液はタンク～スロットダイ間で閉サイクルにて送られるため、供給された塗液は供給された分だけ全量塗布されます。そのため、基材速度が一定の場合、塗工厚は塗液供給量により決まりますので、供給量は加圧タンクのエア圧調整にて加減が出来るシステムを用います。(塗工液が高粘度の場合は精密ポンプを併用します)
このほか、スロットダイは中・高粘度の塗液に適していますがオフロール方式により低粘度液も塗工可能です。現在ではリチウム二次電池のニースに合わせストライプコーティングやパターンコーティングが可能なコートのご要望にも対応しております。



スロットダイコート

スロットダイ(意匠登録取得)その方式と特徴

意匠登録された弊社のスロットダイはサブミクロンから数百ミクロンまでの広範囲の塗工が可能なコーティング装置として誕生しました。現在、セラミックグリーンシートのコーティングにおいては1ミクロン(DRY)以下を要求されており、対して二次電池用電極やFPC用ポリイミドコーティングなどは100ミクロン(DRY)を超えるコーティングが必要となっております。(株)康井精機のスロットダイは塗工精度の高さと使い易さを両立させる独特な構造設計と精密加工によりお客様のニーズに合わせた製作を行っております。



小型生産コート

セラミックシート向けスロットダイコート



世界中で数多く採用されているセラミック成膜用コーティングマシン。薄膜から厚膜まで広く対応可能です。(300mm～500mm巾対応)

OMD-S3.0/D/22.5H

- 塗工方式 スロットダイ方式
- 速度 10～100m/min
- 塗工巾 300mm
- 駆動方式 ACサーボモータ セクショナルドライブ方式
- 乾燥方式 カウンターフロー及び強制高速乾燥方式

リチウム二次電池向けスロットダイコート

リチウム二次電池の電極生産向けスロットダイコート。連続塗工の他、表裏の見当合せと連動したパターン塗工も可能です。

OMD-M6.0/D/8.0

- 塗工方式 スロットダイ方式
- 塗工巾 300～600mm
- 駆動方式 ACサーボモータ セクショナルドライブ方式
- 乾燥方式 ロール支持アーチ及びフローティング型
- 熱風温度 200℃ Max.



小型テストコート

超小型ラボコート

マイクログラビア塗工方式採用

(実用新案取得)



ミューコート

- 省スペース
- 乾燥装置
- 巻出巻取装置内蔵
- 試作塗工が簡単
- 塗工方式 マイクログラビア方式
- 塗工厚 数μ薄膜(WET)から数十μまで広範囲
- 塗工巾最大300mm
- オプション UV硬化装置
- 照射巾200mm
- 120W/cm
- スロットダイ方式

寸法 ファンデッキ／W920×H1382×D600
本体／W1317×H1487×D850

本社工場内にデモ機設置

リニアモータ駆動方式採用

(特許出願中)



枚葉ブレードコート

- 塗工巾最大 320mm
- 塗工長最大 400mm
- 塗工速度 0.5～3m/min
- 塗工方式 ブレード方式(ダイ方式)
- 塗工厚 20～200μm(WET)以上
- 駆動方式 リニアサーボモータ
- 浮上方式 エアベアリング
- 定盤 精密石定盤

寸法 本体／W800×H1277×D770

出来る限り小さな専有面積の、精密塗工設備の代表例をご紹介します。

研究開発コート

小型テストコート



CAD-S2.8/MB/LU/1.0H

専用スペースが小さく実験室でも設備可能。ロールは全て片持ち型で通紙が極めて簡単。

- 塗工方式 マイクログラビア塗工方式
- アプリケーター方式
- ライン速度 2～20 m/min
- 塗工巾 マイクログラビア:280 mm
- アプリケーター:240 mm
- 駆動方式 ACサーボモータ セクショナルドライブ方式
- 乾燥方式 電気ヒーター加熱
- スリットノズル方式
- その他 UVキュア装置
- ドライラミ巻出

プライムコート



CPR-300

コンパクトな設計ながら最大4種類の塗工ヘッドを搭載可能。乾燥炉の延長も含めオプション機能も充実、準生産機としても 使用可能。

- 塗工方式 ナイフ塗工方式
- ダイレクトグラビア方式
- アプリケーター方式ライン速度
- ライン速度 2～20m/min
- 塗工巾 マイクログラビア、ナイフ、グラビア:300 mm
- アプリケーター:90mm or 60 mm 駆動方式
- 駆動方式 ACサーボモータ セクショナルドライブ方式
- 乾燥方式 電気ヒーター加熱
- スリットノズル方式

テストコート



CAG-S3.0/MD/U/4.0

(株)康井精機製テストコートは全て受注生産のため、お客様のご要望に合わせた設計・製造をしております。基材巾やコーティングヘッドはお客様のご要望に合わせて設計します。また、UV照射装置やコロナ処理装置、ウェブクリーナ等の組込みも可能です。

- 塗工方式 マイクログラビア塗工方式
- スロットダイ塗工方式
- ライン速度 2～20 m/min
- 塗工巾 マイクログラビア、ナイフ:300 mm
- 駆動方式 ACサーボモータセクショナルドライブ方式
- 乾燥方式 電気ヒーター加熱・スリットノズル方式
- その他 UVキュア装置

大型生産コータ

その他装置

大型生産コータ



マイクログラビアコータ

プレジジョンコータ



1600巾生産機コーティングマシン
(マイクログラビア、ダイ塗工装置付)



(両面ダブルコーティングマシン)

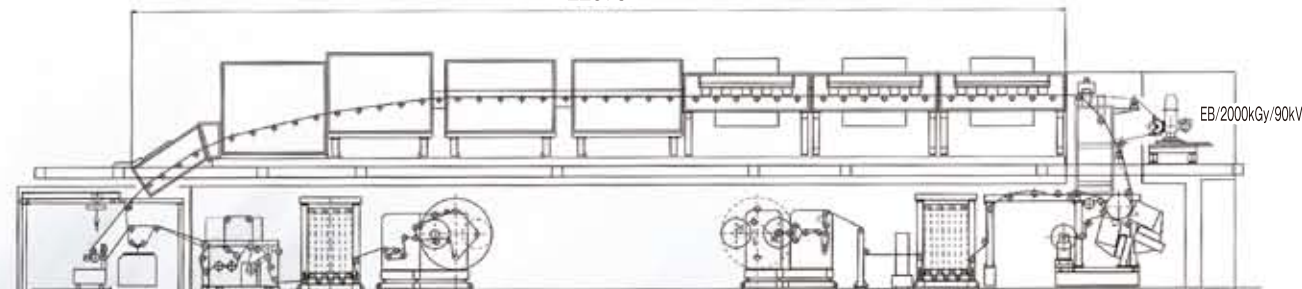
多用途プレジジョンコータ

コーティングヘッド(FLASH!チェンジ型コーティングマシン)

コーティングマシンが大型化されても高精度の塗工は変わりありません。
広巾基材のコーティングテストは(株)ラボ大村研究所に設備されている
MP-1600コータをご利用下さい。

MP-1600コータ(ラボ大村設備(株) 康井精機製)

22075



マイクログラビア
スロットダイコータヘッド

コロナ処理装置

軟X線膜厚計

UV160W/cm 2灯+N₂バージシステム



コロナ処理装置



巻出ターレット装置



巻取ターレット装置



軟X線膜厚計

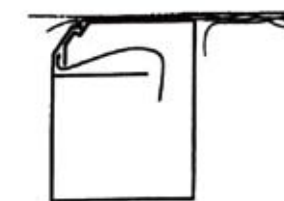


UVキュア装置

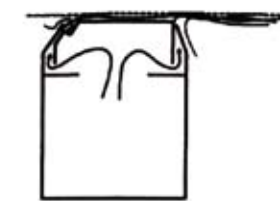
フローティングドライヤー

YASUI式 フローティングドライヤー

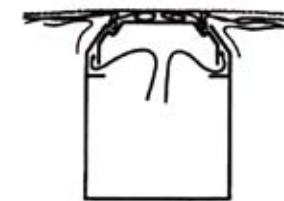
一般的なフローティング・ドライヤーでは基材上下方向から吹き出される熱風の相互作用は複雑です。
熱風速度・圧力そして基材張力のバランスが崩れると、基材は大きな力のベクトル変化に晒され、容易にバタツキ現象を生じます。乾燥炉の能力は熱風温度と風速で決まりますから能力を上げるには風速を高くしたい。しかし基材のバタツキは怖い。ではどうすれば風速を上げられるのでしょうか？
熱風が基材と平行に流れないから基材に対して垂直的な力を生じ、バタツキの原因となるのであれば基材と平行に流れ、基材表面の溶剤ガス層流を除去してやれば良いのです。
この平行流を作るには幾つかの方法がありますが、一般的な方法は角度を付けたスロット形のオリフィスを使うものです。残念ながらこのジェット流は、基材に対し垂直方向の力も発生するという欠点があります。



スタビルフロー



ハイフロー



ターボフロー

フローティング温度分布



ハイフロー

ターボフロー



(株) 康井精機製:1600mm巾

YASUIではエアバーのオリフィスから吹き出るジェット流の途中に、ステップを設けることによりコアンダ効果を生じさせ(上図)、ジェット流を基材と平行に流すことに成功しています。ステップの端には負圧が生じ、この負圧がジェット流を引き込んで渦巻き(ボルテックス)を形成します。
そこでこの熱風ノズルをステップ・ボルテックス式エアバーと呼んでおります。
この渦巻きは、ジェット流をノズルの全巾に亘って分散させる効果があり、基材の全巾に亘って均一な乾燥が可能となります。上下のエアバーからのジェット流バランスに微妙な調整を要せず、運転が容易ということにもなります。

UVキュア装置

塗工面キュア

塗工面UV硬化 UV塗料連続硬化が行えます。

薄膜UV硬化に対応した康井式N₂バージシステムの特徴

- PPMオーダーの酸素濃度の実現
(UV硬化型装置(N₂バージシステム)実用新案取得 登録番号 2049217)

UVランプ

- 有電極
- 無電極



MIRWEC Film社

MIRWEC Filmは1988年に三菱レイヨン社とウェスティングハウス・エレクトリック社のジョイントベンチャー企業として設立、ウェスティングハウス社の高圧コンデンサー事業部へ高純度な絶縁用ポリプロピレンフィルムを供給していました。

しかし、1989年はアセア・ブラウン・ボベリ社（ABB社）がウェスティングハウス社の高圧コンデンサー事業部を買収したことにより、ウェスティングハウス社所有のMIRWEC株はABB社に譲渡されました。

1992年には三菱レイヨン社がABB社所有の株式全てを買い取り、2002年には（株）康井精機が三菱レイヨン社よりMIRWEC Film社の株の51%を取得し、2004年には（株）康井精機とそのグループ会社、（株）ラボが残りの株式を全て取得しました。

また、2004年に工場の増築を行ない、（株）康井精機の精密コータを2台設置し、（株）ラボの援助によりフィルム、リチウム電池などの受託テストコーティングサービスを開始しました。

2006年に1600mm巾のマイクログラビアヘッド、1200mm巾のダイヘッドなどを設備し受託&テストコーティングサービスを更に充実させました。また、高圧コンデンサーフィルム事業の拡大を目的として2008年にはコンデンサーフィルムマシンの2号機を新設しました。



MIRWEC Film, Inc. was incorporated in 1988 as a joint venture between Mitsubishi Rayon Company, Ltd. (MRC) and Westinghouse for the purpose of assuring Westinghouse a reasonably priced, high quality source of polypropylene film for Westinghouse's capacitor division. In 1989 Asea Brown Boveri Ltd. (ABB) acquired MIRWEC shares held by Westinghouse as a part of the purchase of certain Westinghouse facilities and assets. MIRWEC benefited from the advance technology and experience of two leaders in the manufacture and use of high quality capacitor grade film. The joint venture ended in 1992 when MRC acquired the interest held by ABB. In 2002, Yasui Seiki Co., Ltd. acquired the majority interest of MIRWEC Film, Inc. from MRC. We expanded our facility in 2004. Since summer 2004, we have provided precision coating services for a wide variety of industries, using Yasui Seiki's precision coating machines. Due to the increasing volume of coating interests, we extended our facility in 2006 to install a new coating machine, IS-1600.

MIRWEC Film社の所有する機械設備

- 高圧コンデンサー製造用機械: 2台 (1台は (株) 康井精機製)
- スリッター :
 - 2000mm巾、ライン速度400m/min 2台 (1台は (株) 康井精機製)
 - 800mm巾、ライン速度400m/min 2台
- 受託コーティングサービス用: ((株) 康井精機製)
 - 1600mm巾 1台
 - 300mm巾 1台
 - 300mm巾 1台 クリーンルーム内に設備 (クラス3000~10000)
- テストコーティングサービス用: ((株) 康井精機製)
 - 300mm巾 1台 (μコーター)
 - 150mm巾 1台
 - 120mm巾 1台 (ミニラボ)
 - 400mm巾 カットシート用 1台 (βコーター)



アメリカでのテストコーティング及びコーティング加工を希望される場合は、是非MIRWEC Film社をご利用ください。

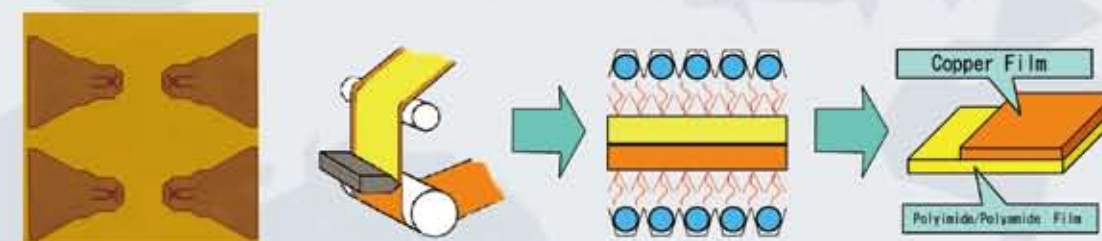
(株) 康井精機にご一報頂ければ担当者がご説明致します。

営業内容及び主要取扱商品

I. (株) 康井精機製コーティングマシンの北米での販売と受託&テストコーティングサービス

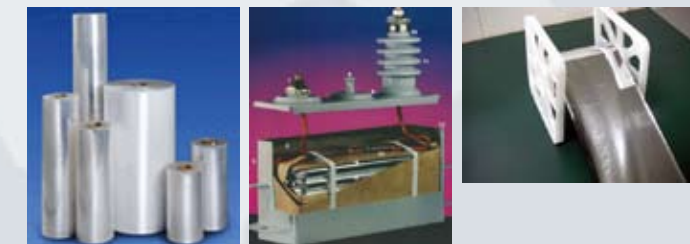
II. 「BOPLON® CLF2」CCL

MIRWEC Film, Inc. が持つコーティング技術と熱処理技術を使って独自に開発したローコスト2層CCLです。



III. 「BOPLON® Film」Capacitor Film

MIRWEC Film, Inc. が持つインフレーションによる2軸延伸装置で製造されています。高純度ポリプロピレンを使用したヘイズタイプのコンデンサ用フィルムです。アルミ蒸着タイプも可能。



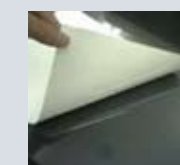
IV. 「BOPLON® Film」Wrapping Film

MIRWEC Film, Inc. の高純度ポリプロピレンフィルムは、ロッドのラッピングフィルムとして幅広く活用されています。



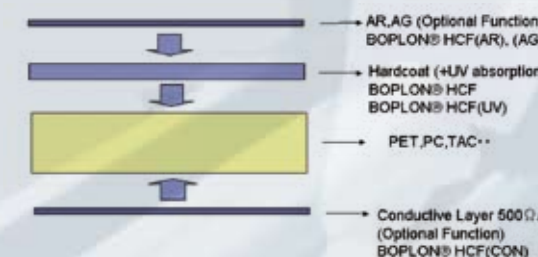
V. 「BOPLON® TRF」Release Films Easy to tight release, transfer film, etc

MIRWEC Film, Inc. のコーティング技術によって開発したシリコンタイプと非シリコンタイプのリリースフィルムです。



VI. 「BOPLON® HCF」Hardcoat Films Glossy, Matt, UV Absorption, etc

MIRWEC Film, Inc. のコーティング技術によって開発したハードコートフィルムです。



VII. 「BOPLON® AF」Anneal Film

MIRWEC Film, Inc. のアニール処理技術によって開発した低熱収縮タイプのPETフィルムです。
Heat Shrinkage 150°C×30min : MD:<0.5% TD : <0.2%

メンテナンス

(株) 康井精機の機械には「こだわりません」他社のコーティングマシンでもメンテナンスを行います。



■ メンテナンスのご相談

定期的にメンテナンスはされていますか？

「最近、コータの調子が悪いんだよね。でも自社では直せないし時間はないし…」
忙しいとなかなかメンテナンス出来ないのが現状ではないでしょうか。
当社では定期メンテナンスを含め、事前に現場へお伺いし、設備のコンディションを調査、把握しお客様に問題箇所のご提示をさせて頂いております。
その後、お客様と協議の上問題箇所の修理を行います。

■ 改造工事

今、お使いのコータに不満はございませんか？

「生産性を上げるため搬送速度を上げたいのだが…」
「インラインで測定器を入れたいのだが、既設コータの改造はどうしたらいいのか？」
昨今は新規ラインを導入するのも大変な時勢となり、何とか改造で済ませる事が出来るのであればそうしたいもの。
そんな時は、当社にご相談下さい！お客様のご要望に応じて、改造箇所の設計/製作、もちろん現地工事も行います。

■ 移設工事

古いコータを移設したいのだが、どこに頼めばいいかわからない。

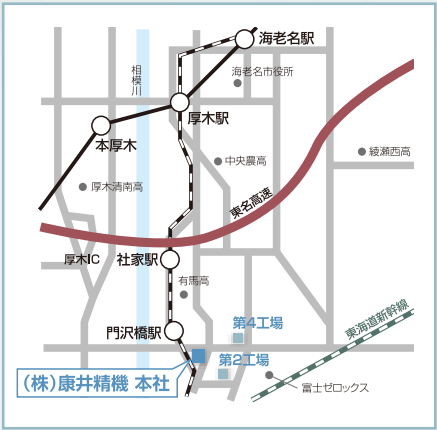
「古いコータを移設したいのだが、どこに頼めばいいんだ？」
移設は意外と大変なもの。配線、ダクト類、搬入出や輸送…等々解決しなければいけない事がたくさんあります。
そんな時は、当社にご相談下さい！移設内容をお伺いし適切な手配等の対応を致します。

■ご用命は… 担当:小菅・前場まで。 お気軽にご相談下さい。
連絡先 TEL:046-238-0160 FAX:046-239-0548 E-mail:info@yasuisseiki.co.jp

■ その他

塗工・乾燥などでお困りのお客様には、コーティング技術のプロ集団株式会社ラボ(関連会社)をご紹介します。

(株) 康井精機以外の設備についても、お困りでしたらお気軽にご相談下さい。

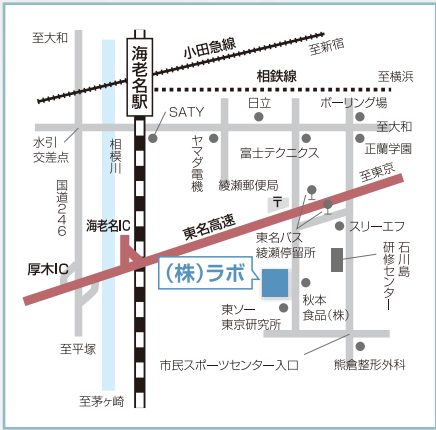


株式会社 康井精機

本社第一工場 神奈川県海老名市門沢橋6-18-30

TEL. 046-238-0160
FAX. 046-239-0548

- 小田急線 海老名駅からタクシーで15分
- JR相模線、門沢橋駅から徒歩7分
- 東名高速道路 海老名ICから車で10分

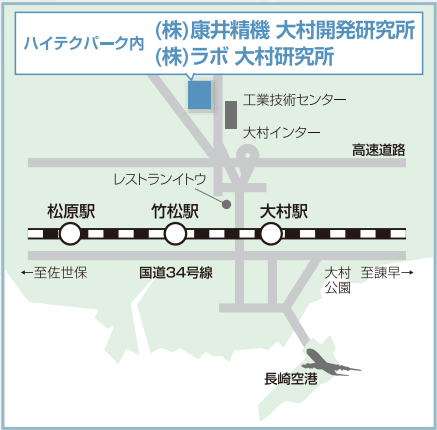


株式会社 ラボ

神奈川県綾瀬市早川2754-1

TEL. 0467-70-8288
FAX. 0467-70-9355

- 薄膜名バス綾瀬停留所から徒歩10分
- 小田急線 海老名駅からタクシーで15分
- 東名高速道路 海老名ICから車で30分



(株) 康井精機 大村開発研究所

長崎県大村市雄ヶ原町147-58

TEL. 0957-48-5780
FAX. 0957-48-5785

- 長崎空港からタクシー15分

(株) 康井精機へのお問い合わせは弊社営業部へ。 E-mail:info@yasuisseiki.co.jp

- 第2工場 TEL.046-238-3463 〒243-0426 神奈川県海老名市門沢橋6-3-19
- 第3工場 開発研究所 TEL.0957-48-5780 〒856-0022 長崎県 大村市雄ヶ原町147-58
- 第4工場 TEL.050-3537-7959 〒243-0417 神奈川県海老名市本郷1694-1

関連会社

- 株式会社ラボ TEL.0467-70-8288 〒253-1123 神奈川県綾瀬市早川2754-1 HP / www.labo-japan.co.jp
- 株式会社ラボ 大村研究所 TEL.0957-49-6015 〒856-0022 長崎県大村市雄ヶ原町1313-69
- YASUI SEIKI CO. (USA) & MIRWEC FILM, Inc. TEL.812-331-0700 601 South Liberty Drive, Bloomington, IN 47403 HP / www.mirwecfilm.com

守秘義務について

康井グループは守秘義務を第一に考え、設備仕様打合せ、メンテナンス、研究開発及び受託加工においては秘密保持契約を締結した後にを行います。
詳しい内容は当社又は(株)ラボまでお問い合わせ下さい。